

自己評価報告書

平成 23 年 3 月 31 日現在

機関番号 : 34506

研究種目 : 若手研究 (B)

研究期間 : 2008~2011

課題番号 : 20720085

研究課題名 (和文) アメリカ小説の想像力と紙幣制度変遷に見られる相互関係

研究課題名 (英文) Interrelationship between the Imagination in American Fiction and Changes of American Paper Currency systems

研究代表者

秋元 孝文 (Takafumi Akimoto)

甲南大学・文学部・教授

研究者番号 : 70330404

研究分野 : アメリカ文学

科研費の分科・細目 : 文学・ヨーロッパ語系文学

キーワード : アメリカ小説・アメリカ紙幣

1. 研究計画の概要

ともに紙に印刷されたフィクションであり、読まれて初めて意味を発生するテキストであるという共通性のもとに、アメリカにおける紙幣史の変遷とアメリカ小説の想像力の変遷にパラレルな関係を見出し、これまで顧みられることのなかった経済と文学の相互関係に光を当て、アメリカ文学研究の新たな地平を切り開くことを目標とする。

科研費交付以前に発表した J.S.G. Boggs 論、Horatio Alger 論、Benjamin Franklin と William Burroughs 論に引き続く形で、19 世紀アメリカ文学として Melville, Twain を取り上げ、引き続き 20 世紀作家として Frank Baum, Scot Fitzgerald, Joseph Heller, William Gaddis, Paul Auster, Richard Powers についての各論によって、貨幣や紙幣を通してアメリカ文学史を通時的に読み解く。これらの各論から紙幣と小説の想像力が互いに影響を与えていたということを導きたい。

2. 研究の進捗状況

科研費の支給期間において、甲南大学紀要に発表した Paul Auster *Brooklyn Follies* 論、マーク・トウェイン協会全国大会シンポジウムでの発表をもとに『マーク・トウェイン研究』に発表した Mark Twain 論、甲南英文学会での発表をもとに『アメリカ研究』に発表した Frank Baum *The Wonderful Wizard of*

Oz 論と、3 つの研究成果を形にし、2011 年 4 月現在、次の Herman Melville "Bartleby, the Scrivener" 論をまとめている最中である。投稿の都合上論文としての発表は 2012 年度以降になる可能性もあるが、今年度中には上記 Melville 論と、新たに取り組む予定の Joseph Heller 論、または Richard Powers 論のいずれかをまとめる予定である。

数としてはこれまでの 3 年間で 3 つの論文を終え、最後の一年であと 2 本程度の論文を出版する予定である。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

上記 2 にあるように 3 つの研究成果を形として残すことができた。研究全体で言うと 19 世紀後半についてはある程度まとめることができた。科研費応募時の計画に比べると多少数としては少ないが、それぞれに十分なリサーチを行った結果、予定より時間がかかったためであり、そのぶんクオリティの高い研究成果となったと認識している。現在ほぼまとまりかけている Melville 論もあり、これを含めれば当初の計画の 19 世紀の部分を終えたことになる。

ただ、当初の計画のようにアメリカ文学史全体を通時的に研究する、という目標の達成にはいまだ到っておらず、20 世紀の部分で完成しているのは Frank Baum 論と Auster 論だけであり、次項で挙げる 4 人の作家に関する各論を完成してはじめて研究全体がある

程度のまとまることとなる。

4. 今後の研究の推進方策

研究対象を 20 世紀の作家にシフトし、Scott Fitzgerald, Joseph Heller, William Gaddis, Richard Powers の 4 人の作家およびその作品についての各論の完成を目指す。これまでの研究からわかったのは、従来の文学研究にあった手法である作家研究とは異なる文化・歴史的アプローチを必要とするためリサーチに膨大な時間がかかるということである。これまでの 19 世紀中心から 20 世紀に対象作家・作品がシフトしていくに当たり、時代的背景、とくに紙幣制度および同時代アメリカ文化に関するさらなるリサーチが必要であり、同時に取り上げる作家・作品に関するリサーチも十分に行わねばならない。

リサーチをおさなりにすることなく着実に成果を上げていきたい。具体的には今年度中に上記作家のうち **Joseph Heller** または **Richard Powers** について成果をまとめ、論文の形で発表し、順次残り 3 人の作家についても取り上げていく。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 3 件)

秋元孝文 "(E)X Marks the Spot ---Paul Auster Brooklyn Follies と 9.11 後のリアリティ---" 『甲南大学紀要. 文学編』160, 89-101. 2010 年, 査読なし

秋元孝文 「トウエインの書いたユリシーズ・S・グラントのサイン---「どちらが夢か?」とサイン・主体・金銀複本位制」『マーク・トウエイン研究と批評』9. 33-41. 2010 年, 査読なし

秋元孝文 「紙の上のエメラルド・シティ---The Wonderful Wizard of Oz と紙幣制度」『アメリカ研究』45. 97-116. 2011 年, 査読あり

〔学会発表〕(計 2 件)

・「トウエインの書いたユリシーズ・S・グラントのサイン---「どちらが夢か?」とサイン・主体・金銀複本位制」シンポジウム「マーク・トウエインと資本主義」マーク・トウエイン協会全国大会. 2009 年 10 月 9 日 秋田大学コンソーシアム

・「紙の上のエメラルド・シティ---The Wonderful Wizard of Oz と紙幣制度」甲南英文学会 2010 年 7 月 3 日 甲南大学

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕